



新国際学生寮の現在と 今後の展望

外国語学部英語英文学科4年
むらこし まどか
村越 円香さん(写真左)

外国語学部国際文化交流学科3年
ひろさわ こうき
廣澤 光紀さん(写真中央)

株式会社オンデザインパートナーズ
まんぎよく なおこ
萬玉 直子氏(写真右)

新国際学生寮には、海外からの留学生のほか、留学生のサポートや宿舍内の交流イベントの企画・運営などを行うRA(レジデントアシスタント)が入居します。RAを担当する在学生と設計者の萬玉氏に、現在の新国際学生寮の様子や今後の展望などを語っていただきました。

みなとみらいを一望できるロケーション。 反対側からは富士山が見える日も

萬玉 お二人がRAに志願した理由を教えてください。

廣澤 2年次に約半年間ドイツに留学し、寮生活で現地の方に助けてもらった経験があったので、今度は自分が日本に来る留学生の手助けができればと志願しました。

村越 私も約1年間のベルギー留学で寮に住んでいました。言葉の壁があり苦労したのですが、周りの方々のサポートを得て生活がとても楽しかったんです。また、留学で鍛えた語学力を帰国後もさらに磨きたいと思い、RAに応募しました。

萬玉 現在の新国際学生寮の様子はいかがですか？

村越 現在プレオープンという形で、28人の留学生と5人のRAが共同生活を送っています。

廣澤 留学生は、日本ならではの物珍しさがあるのか、畳のあるポットによく集まっています。

村越 部屋からみなとみらいを一望できるロケーションも

気に入っています。

萬玉 反対側の部屋からは冬になると富士山が見えるんですよ。私たちは設計中にそれぞれの側面を「みなとみらい側」「富士山側」と呼んでいました。

村越 そうなんですね。富士山が見えるというのは初めて知りました。

初めてポットを見た時の驚き。 「ここで何が起こるんだろう」

萬玉 ポットを初めて見た時、どう感じましたか？

廣澤 良い意味で新鮮すぎました。留学生が入寮する前に、一人ですべてのポットを回って「ここで何が起こるんだろう」と楽しみになりました。

村越 本棚のあるポットもあって、これからどう活用しようかと思いを巡らせています。

萬玉 本は備え付けではないので、ぜひ学生さんたちが自由に運営してほしいです。ポットは複数人でも一人でも居心

地がいい空間を目指して設計したのですが、実際どのように使われていますか？

村越 みんなで食事をしたり、勉強したりしています。先ほども留学生が一人でパソコン作業をしていました。

廣澤 人工芝のポットは一人で使うこともあります。少し隠れた場所にあるので、人目を気にせずくつろげるんです。複数人で集まる時は畳のポットを使うことが多いです。

萬玉 ポットでやりたいなと思ったことは全部試してほしいですね。壁が黒板塗装になっているポットもあるので、それぞれの機能をうまく活用していただきたいです。

廣澤 1階のスタジオは、もっと大人数で盛大に使いたいと思っています。

萬玉 一番奥のスタジオ3は、最大で200人くらい収容できる空間です。使わないともったいないので、学習スペースにしたりイベントを行ったりと、ぜひ有効に使っていただきたいですね。大きなスクリーンを入れれば、パブリックビューイングのように大勢でスポーツ観戦などもできます。2020年の東京オリンピック・パラリンピックや箱根駅伝も、そこで見ると盛り上がるのではないのでしょうか。

廣澤 スクリーンでパブリックビューイングを行うというアイデアは、まさに現在RA会議でも議論している話です。また、留学生は日本の情報を得るのがなかなか難しいと思うので、スポーツに限らず日本の情報を得られる映像などを投影できたらもっと集まりやすくなると思います。ポットを含めこれだけ自由な空間があるので、最大限に有効活用し

たいです。

村越 今の段階では部屋の近い学生で固まることが多いので、もっと全員で集まれるイベントを企画したいと思っています。

卒業後も母校とのつながりを大切にしてほしい

萬玉 お二人の今後の目標を教えてください。

廣澤 留学生との交流を通じて国際感覚を磨き、4年次に再度ドイツに留学することを計画しています。卒業後はグローバルに働くことを目標に、現在就職活動を進めています。

村越 私は卒業まで残りわずかなので、RAとしてやりたいことをやり尽くしたいです。卒業後は企業に就職する予定ですが、RAでの経験を生かして海外部門で活躍できればと思っています。

萬玉 卒業後に母校と関わる機会は少ないと思うんですが、私はこの寮の設計を通して神奈川大学や神大関係者とのつながりが生まれ、母校愛が一層強くなりました。卒業後も母校と関われるのは良いものなので、このつながりを大切にしてほしいと思います。設計者としてもこの寮が今後どのように使われ、進化していくか、とても興味があります。寮生活で困ったことがあればぜひ相談してください。

(2019年10月取材)



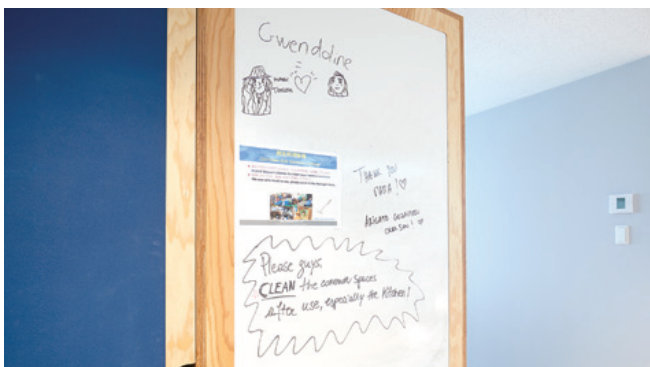
シェアキッチン

©鳥村銅一



広々とした共有スペース

©鳥村銅一



共有部のボードにはメッセージが



多様な使い方が期待されるポット

©鳥村銅一